

トマトキバガ

生態と防除



大阪府環境農林水産部農政室推進課
病害虫防除グループ

トマトキバガとは

- ・ チョウ目キバガ科に属する微小なガ。
- ・ 南アメリカ原産で、平成18年にスペインへの侵入が確認されて以降、ヨーロッパ、アフリカ、中央アメリカ、西アジア、アラビア半島、インド、ネパール、東南アジアに分布を拡大し、令和3年5月までに台湾、中国、中央アジア諸国等の近隣地域でも発生が確認されている。
- ・ 国内では、令和3年11月に熊本県で初確認されてから、令和6年2月現在、39道府県で予察のために設置したフェロモントラップでの誘殺が確認されている。また、令和5年9月には北海道の施設栽培トマトで、幼虫による被害が確認されている。
- ・ 大阪府では、令和5年10月にフェロモントラップでの誘殺を確認し、特殊報を発出した。

令和5年度 病害虫発生予察特殊報第1号「トマトキバガ」

(令和5年10月31日発出)

https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/318/00000000/231031_tokusyuhou01_tomatokibaga.pdf



形態と生態

① 形態

- ・ 成虫（図1）は、翅を閉じた静止時で体長5～7mm（前翅長約5mm、開張約10mm）。前翅は灰褐色の地色に黒色斑が散在し、後翅は一様に淡黒褐色。
- ・ 幼虫（図2）は、終齢で体長約8mm。体色は淡緑色～淡赤白色で、頭部は淡褐色、前胸の背面後方に細い黒色横帯がある。
- ・ ナス科作物の害虫である「ジャガイモガ」と成虫の外観が酷似しており、肉眼での識別は難しいので、発生が疑われる場合は、速やかに病害虫防除グループや最寄りの農の普及課、JAに確認する。

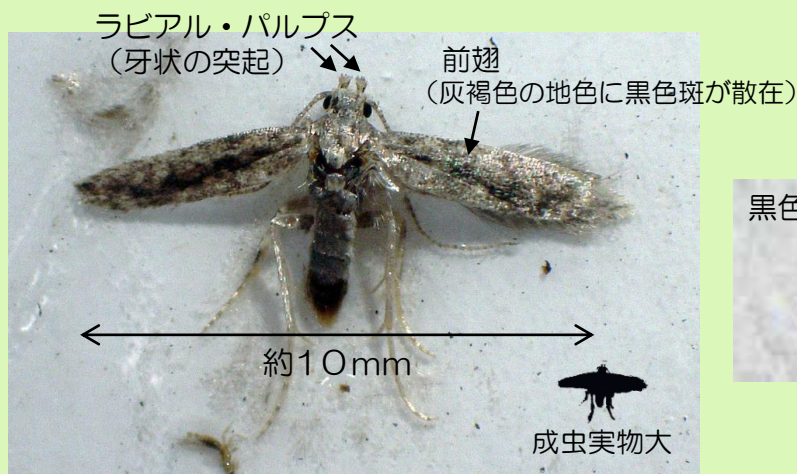


図1 府内に設置したトラップで誘殺された成虫



図2 幼虫

※図2：出典「植物防疫所Webサイト」 無断転載を禁ずる。

② 生態

- ・ 1年に複数の世代（10～12世代）が発生し、**繁殖力が高い**。
- ・ 成虫は夜行性で、**日中は葉の間等に隠れている**ことが多い。
- ・ **卵は寄主植物の葉の裏面などに産み付けられ**、幼虫は寄生植物の莖葉（内部及び外部寄生）やトマト果実（内部）などに生息、終齢幼虫は土中や葉の表面で蛹化する。
- ・ 卵～成虫になるまでの期間は24～38日程度。気温が低い時期はさらに延びる。

被害

- 主な寄主植物は、トマト、ナス、ピーマン、トウガラシ、タバコ、チョウセンアサガオなどのナス科植物。
- マメ科のインゲンマメでも被害が確認されている。

<トマトでの被害>

- 幼虫が茎葉の内部に潜り込んで食害し、孔道が形成される。葉の食害部分は表面のみ残して薄皮状になり、白～褐変する（図3）。
- 果実では、幼虫が穿孔侵入して内部組織を食害するため、果実表面に直径数mm程度の穴が空く。また、二次的に感染した病原菌により腐敗するため、品質が低下する（図4）。

※図3、4：出典「植物防疫所Webサイト」 無断転載を禁ずる。



図3 トマト葉の被害



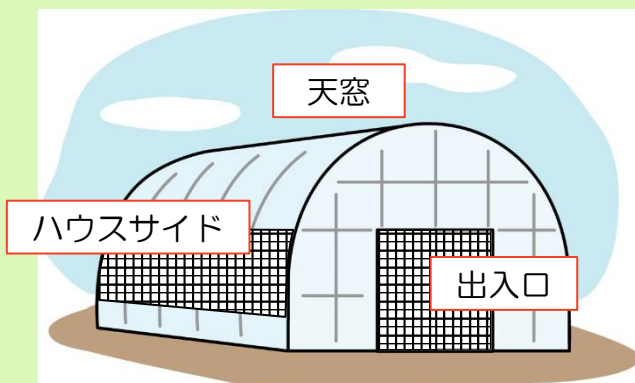
図4 トマト果実の被害

防除と対策

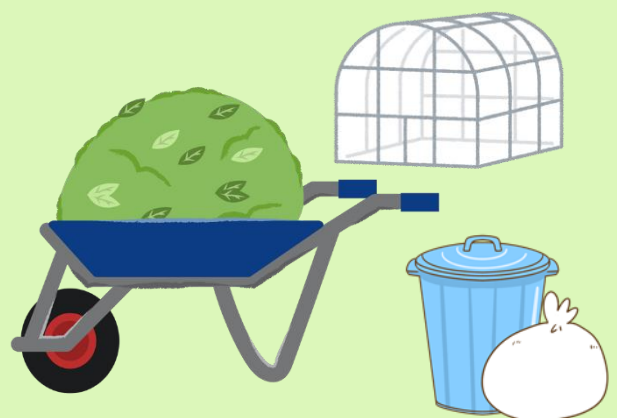
① 耕種的防除

- 施設栽培では、コナジラミ類対策も兼ねて、開口部（出入口、ハウスサイド、天窓など）に0.4mm目合いの防虫ネット等を設置し、侵入を防止する。
- ほ場内をよく見回り、見つけしだい捕殺する。
- 被害葉や被害果実はほ場に放置せず、速やかに土中に深く埋却するか、ビニール袋などに入れ、一定期間密閉し、寄生した成幼虫を全て死滅させてから、適切に処分する。

防虫ネットの設置



残さ・被害茎葉の持ち出し、処分



② 薬剤による防除

- トマト、ミニトマトでは別紙を参考に登録農薬を散布する。
- 薬剤散布にあたっては、最新の農薬登録情報を確認し、薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統（RACコード）が異なる薬剤のローテーション散布を行う。

【参考】防除薬剤に関するホームページ

- Web版大阪府病害虫防除指針 <http://www.jppn.ne.jp/osaka/shishin/shishin.html>
- 農林水産省農薬登録情報提供システム <https://pesticide.maff.go.jp/>

問い合わせ先

環境農林水産部農政室推進課病害虫防除グループ

〒583-0862 羽曳野市尺度442
直通 072-957-0520 FAX 072-956-8711

環境農林水産部農政室推進課地産地消推進グループ

〒559-8555 大阪市住之江区南港北1-14-16 咲洲庁舎22階
代表 06-6941-0351 (内線6744) FAX 06-6614-0913

北部農と緑の総合事務所 農の普及課

〒567-0034 茨木市中穂積1-3-43 三島府民Cビル内
代表 072-627-1121 FAX 072-623-4321

中部農と緑の総合事務所 農の普及課

〒581-0005 八尾市荘内町2-1-36 中河内府民Cビル内
代表 072-994-1515 FAX 072-991-8281

南河内農と緑の総合事務所 農の普及課

〒584-0031 富田林市寿町2-6-1 南河内府民Cビル内
代表 0721-25-1131 FAX 0721-25-0425

泉州農と緑の総合事務所 農の普及課

〒596-0076 岸和田市野田町3-13-2 泉南府民Cビル内
代表 072-439-3601 FAX 072-438-2069

本資料作成にあたり、植物防疫所 病害虫情報「トマトキバガについて」などを参考にしました。
https://www.maff.go.jp/pps/j/guidance/pestinfo/attach/pdf/pestinfo_127_1-3.pdf



環境農林水産部農政室推進課病害虫防除グループ

〒583-0862 羽曳野市尺度442
TEL 072-957-0520 FAX 072-956-8711
Email byogaichu@sbox.pref.osaka.lg.jp

トマトキバガの防除薬剤例

(別紙)

登録は令和6年2月26日現在

薬剤名 (成分名)	系統 (IRAC)	適用作物		希釈倍数・ 使用量	使用時期/ 使用回数	使用方法
		トマト	ミニトマト			
ディアナSC (スピネトラム)	5	○	○	2500~5000倍	収穫前日まで /2回以内	散布
ラディアントSC (スピネトラム)		○	○	2500~5000倍	収穫前日まで /2回以内	散布
ダブルシューターSE (脂肪酸グリセリド・スピノサド)	-・5	○	○	1000倍	収穫前日まで /2回以内	散布
アフーム乳剤 (エマメクテン安息香酸塩)	6	○	○	2000倍	収穫前日まで /5回以内	散布
アグリメック (アバメクテン)		○	×	500~1000倍	収穫前日まで /3回以内	散布
エスマルクDF (BT)	11A	○	○	1000倍	発生初期但し、 収穫前日まで/ー	散布
コテツフロアブル (クロルフェナビル)	13	○	○	2000倍	収穫前日まで /3回以内	散布
トルネードエースDF (インドキサカルブ)	22A	○	×	2000倍	収穫前日まで /2回以内	散布
アクセルフロアブル (メタフルミゾン)	22B	○	○	1000倍	収穫前日まで /3回以内	散布
ベネビアOD (シアントラニプロール)	28	○	○	2000倍	収穫前日まで /3回以内	散布
ベリマークSC (シアントラニプロール)		○	○	400株当り25ml /10~20L希釈	育苗期後半~定植当日 /1回	灌注
プリロツソ粒剤 (シアントラニプロール)		○	○	2g/株	育苗期後半~定植時 /1回	株元散布
プリロツソ粒剤オメガ (シアントラニプロール)		○	○	2g/株	育苗期後半~定植時 /1回	株元散布
フェニックス顆粒水和剤 (フルベンジアミド)		○	○	2000倍	収穫前日まで /2回以内	散布
ヨーバルフロアブル (テトラニプロール)		○	○	2500倍	収穫前日まで /3回以内	散布
グレーシア乳剤 (フルキサメタミド)	30	○	○	2000倍	収穫前日まで /2回以内	散布
プレオフロアブル (ピリダリル)	UN	○	○	1000倍	収穫前日まで /2回以内	散布

◎防除薬剤については、使用前に登録内容を「農林水産省農薬登録情報提供システム (<https://pesticide.maff.go.jp/>)」で確認してください。



問い合わせ先

環境農林水産部農政室推進課病害虫防除グループ

〒583-0862 羽曳野市尺度442

直通 072-957-0520 FAX 072-956-8711

環境農林水産部農政室推進課地産地消推進グループ

〒559-8555 大阪市住之江区南港北1-14-16 咲洲庁舎22階

代表 06-6941-0351 (内線6744) FAX 06-6614-0913

北部農と緑の総合事務所 農の普及課

〒567-0034 茨木市中穂積1-3-43 三島府民Cビル内

代表 072-627-1121 FAX 072-623-4321

中部農と緑の総合事務所 農の普及課

〒581-0005 八尾市荘内町2-1-36 中河内府民Cビル内

代表 072-994-1515 FAX 072-991-8281

南河内農と緑の総合事務所 農の普及課

〒584-0031 富田林市寿町2-6-1 南河内府民Cビル内

代表 0721-25-1131 FAX 0721-25-0425

泉州農と緑の総合事務所 農の普及課

〒596-0076 岸和田市野田町3-13-2 泉南府民Cビル内

代表 072-439-3601 FAX 072-438-2069



環境農林水産部農政室推進課病害虫防除グループ

〒583-0862 羽曳野市尺度442

TEL 072-957-0520 FAX 072-956-8711

Email byogaichu@sbox.pref.osaka.lg.jp

監修：(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所

令和6年3月発行